

ウェブサイトはこちら!



福島第一原子力発電所で働く
みなさんへのお知らせ

2018年

月刊 いちえふ。

5

月



INDEX

■ いちえふのいま

自動運転EVバスの
運用開始

■ 1Fを守る仲間たち

● アトックス

福島復興支社のみなさん

■ KY Book【第10回】

■ いこいの時間

ジグソーパズル

プレゼント

福島名産の
詰め合わせ



とびっくす



安全

梅雨が近づいてきています!

梅雨の季節がもうすぐやってきます。雨天時は
視界が悪くなるだけでなく、滑りやすくなるので、
車の運転や作業の際は気を付けましょう。



イベント

リアル宝探しイベント コードF-8

地図を手がかりに、福島県内33エリアに隠された
宝箱を探す宝探しゲームが10月28日まで開催中です。

<http://www.takarush.jp/promo/fukushima8/>



健康

熱中症には気を付けましょう!

梅雨の季節は、高温多湿なので熱が外に逃げ
にくく発汗量が多くなります。休憩や水分をしつ
かりとって熱中症にならないようにしましょう。



いちえふのいま



自動運転EVバス

自動運転EVバスの 運用開始

福島第一原子力発電所構内のインフラを整備し、
廃炉事業をより円滑に進めるため、4月18日に自動
運転EV※バスを導入しました。当面はオペレーターが
同乗して走行し、段階的に無人運転化へ移行する計画
としており、これまで安全に運行を継続しています。

今後、構内で自動運転の実績を積み重ね、将来的に
地域の貢献につなげていきます。

※EVとは、Electric Vehicleの略で、日本語では電気自動車と
言います。近年、資源制約や環境問題への関心の高まりを
背景に、電気自動車が注目を集めています



放射線量の測定でみなさんの 安全・安心に貢献する

今回ご紹介するのは、1Fの廃炉事業や福島の復興事業に力を注いでいるアトックスの方々の中で、1F構内の放射線測定や放射線管理を担当しているみなさんです。2016年8月に富岡町に開設された同社の福島復興支社でお話をうかがいました。

線量を測定したい地点に出かけて 持ち帰った試料を測定器にかける

— どのようなお仕事をなさっているのですか。

猪狩さん：当社は、震災前から原子炉建屋・タービン建屋など建屋内に設定された管理区域の放射線管理を東京電力さんから委託を受けて実施していました。震災後は1F構内全体で放射線管理が必要になったので、以前からこの業務をしていた当社が構内の管理を受け持つことになりました。

Message

放射線の測定や管理を通じて、安心して仕事ができるよう、これからもお手伝いしていきます。



(写真左から)

猪狩 実さん
高村 幸生さん
小森 和幸さん

渡邊 高志さん
三好 健介さん
林 大幹さん

若松 伸吾さん



安全衛生推進協議会主催第2回駅伝大会に参加したアトックスのみなさん

私自身は、全体のまとめ役の仕事をしています。

渡邊さん：私は、作業開始前にメンバーの作業予定の確認や災害防止のためのR-KYの取りまとめを行っています。また、作業中はメンバーの作業状況を把握し、必要に応じ指導・助言を行っています。

高村さん：渡邊の補佐的な役割を担当しています。現場に出て作業班長さんたちを取りまとめたり、人が足りないときは現場で手伝ったりと、作業に抜けが出ないようにやっています。

小森さん：私は、実際に現場に出かけて測定の仕事をしています。一定の面積あたりにどれだけの放射性物質が付着しているかを測定したり、作業員さんが働く場所の線量率の測定をして、それらのデータをまとめる仕事をしています。

重くて持ち運びにくい鉛の円筒を
みんなの知恵を合わせて工夫した



— 毎日のお仕事で心がけていることはありますか。

三好さん：毎日、ほぼ同じ作業の繰り返しなのですが、だからこそ現場の変化がないかどうかを確認しながら続けることが大事だと思っています。見た目は変わらないのに、線量が大きく変化していくこともあります。そんなときは、周辺の測定結果と併せて原因を調査しなくてはなりません。

—— これまでの仕事でどんな工夫をしてきましたか。

林さん：私たちの業務では、特定の地点での放射線を測定するときに、そのままの状態^{はか}で測った値と、放射線^{ほうしゃせん}を通さない鉛^{なまり}で周囲^{おお}を覆^{はか}って測った値をくらべるといことをします。これによって、地面や周囲からの影響^{えいきょう}を差し引いた、正確な値^{あた}が測れるわけです。

このときに使うのが、鉛^{なまり}でできた高さ30cmほどの円筒形^{えんとうけい}をしたコリメータという器具ですが、これが非常に重いのです。災害を発生させずに効率よく持ち運ぶことができないかを私なりに考えて、取っ手^{とつ}をつけたらどうかなど、いくつか提案^{てん}してみました。

渡邊さん：かつては、地表からの放射線^{ほうしゃせん}の影響^{えいきょう}がないように、「サイズが畳半分ほどの鉛^{なまり}マット（20kg）」と「影響の度合い^{たくあひ}を確認^{かくにん}するために小さめの鉛板^{えんばん}を数枚^{すうまい}」を2～3人で運んでいたこともありまして。さらに円筒形^{えんとうけい}の鉛^{なまり}です。重くて使いにくかったので、取っ手^{とつ}をつけたり、筒^{つつ}に蓋^{ふた}をつけたり、運ぶための専用^{せんよう}の台車^{たいしゃ}をつくったりと、林が中心になって提案^{てん}をしてくれました。



1 鉛^{なまり}マットと鉛板^{えんばん}を敷き、鉛^{なまり}の筒^{つつ}を使用している状態

2 コリメータを使用した測定

3 コリメータ用運搬台車

4 スミヤロ紙^{おせん}で汚染^{おせん}を採取^{とく}しているところ



駅伝^{ゆうしゅう}で優勝したアトックス。賞状とカップを手に笑顔の渡邊さん

1Fで働く人を守るためのデータなので責任とともにやりがいを感じる

—— この仕事をやってよかったと感じるのはどういうときですか。



高村さん：万一、どこかで作業中に放射能^{ほうしゃのう}に汚染^{おせん}されたという事態^{じたい}が起きたときには、私たちのとったデータを参考^{さんこう}にして原因^{げんいん}を調べることになります。そう考えると、まさに、1Fで作業する人たちを守るためのデータでもあるわけですから、責任^{せきにん}を感じると同時に、やりがいも感じます。

若松さん：私^{わが}がこの課^かに異動^{いどう}して放射線^{ほうしゃせん}について知識^{ちしき}が増えたことで、テレビや新聞^{しんぶん}で放射線量^{ほうしゃせんりょう}の数字^{すうじ}が出てくると、家族^{かぞく}にわかりやすく解説^{かいせつ}できるようになりました。その点^{てん}は、家族^{かぞく}にも感謝^{かんしゃ}されています。

つと お勤め先

株式会社アトックス

1980年設立。原子力発電所のメンテナンスや放射性物質^{ほうしやせいぶつ}にかかわる業務^{ぎふく}が中心。震災^{しんさい}後の1Fでは、放射線管理^{ほうしやせんかん}業務^{りぎょう}などに取り組んでいる。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <https://1f-all.jp/interview/48/>

第10回

問いかける姿勢

不確実さや疑念があるとき、予想外の状態に直面するとき、エラーと判断されるときには、一度立ち止まり、右記を実行しましょう。



業務活動を
中断する



設備と現場を
安全な状態にする



上司に
連絡する



質問する



関連情報を
集める



適正確認、妥当性確認、
検証を行う

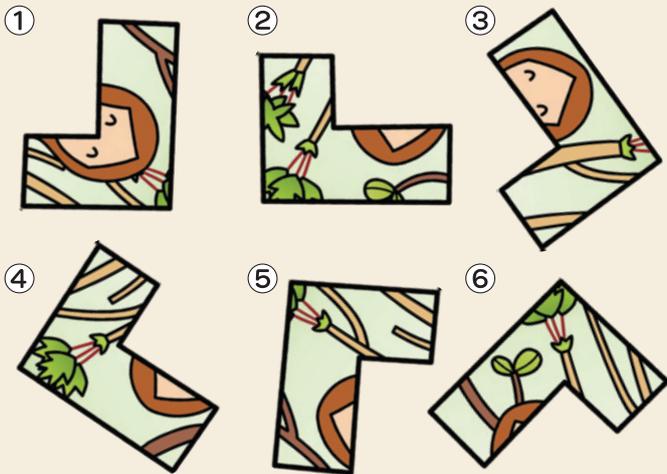


確かな場合のみ
進める

いこいの時間

ジグソーパズル

今月はジグソーパズルです。絵は「安達太良山の山開き」です。1カ所空いているところがありますが、当てはまるピースがどれかわかりますか？



応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、福島第一登録窓口通用口にある応募箱に
必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 5月21日～6月11日

- *応募用紙は応募箱横に設置しています。
- *当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- *答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

今号のプレゼント

福島名産の
詰め合わせです。

*賞品は写真と異なる場合がございます

